

災害廃棄物仮置場設置運営訓練の開催結果

1. 日時

令和 6 年 11 月 18 日（月） 9:45～15:40

2. 開催場所

午前（ワークショップ）：荷揚複合公共施設 中央公民館大会議室（大分市荷揚町 3-45）

午後（屋外訓練）：平和市民公園 多目的広場（大分市萩原緑町 101）

3. プログラム

下表のとおり。

会場	時間	内容
荷揚複合公共施設 中央公民館大会議室	9:15～ 9:45	受付
	9:45～ 9:50	開会
	9:50～10:05	ガイダンス
	10:05～10:10	グループ内自己紹介
	10:10～10:15	ワークショップ①の説明
	10:15～10:55	【ワークショップ①】 仮置場の設置計画作成
	10:55～11:00	ワークショップ②の説明
	11:00～11:25	【ワークショップ②】 訓練実施要領作成
	11:25～11:35	午後の屋外訓練の案内
	11:35～12:30	昼休憩
平和市民公園 多目的広場	12:30～12:45	屋外訓練会場（平和市民公園）へ移動
	12:45～12:50	屋外訓練会場（平和市民公園）集合
	12:50～13:00	屋外訓練①の説明
	13:00～13:40	【屋外訓練①】 仮置場の設置
	13:40～13:50	屋外訓練②の説明
	13:50～15:10	【屋外訓練②】 仮置場受入対応 （1 班あたり計 8 台対応）
	15:10～15:20	講評
	15:20～15:35	班内における振り返り
	15:35～15:40	閉会

4. 出席者

下表のとおり。なお、訓練は2班に分かれて行った。

No.	組織の種類	組織名	部（局）	課（室）等	参加人数
1	自治体 （県）	福岡県	環境部	廃棄物対策課	1名
2		佐賀県	県民環境部	循環型社会推進課	2名
3		長崎県	県民生活環境部	資源循環推進課	1名
4		熊本県	環境生活部 環境局	循環社会推進課	2名
5		大分県	生活環境部	循環社会推進課	1名(1名)
6		宮崎県	環境森林部	循環社会推進課	1名
7		鹿児島県	環境林務部	廃棄物・リサイクル対策課	1名
8		沖縄県	環境部	環境整備課	1名
9	自治体 （市）	北九州市	環境局 循環社会推進部	循環社会推進課	1名
10		福岡市	環境局 循環型社会推進部	計画課	2名
11		久留米市	環境部	施設課 資源循環推進課	1名 1名
12		長崎市	環境部	廃棄物対策課	1名
13		佐世保市	環境部	環境政策課	1名
14		熊本市	環境局 資源循環部	廃棄物計画課	1名
15		大分市	環境部	ごみ減量推進課 清掃施設課 清掃業務課 廃棄物対策課	4名 1名 2名 1名(1名)
16		宮崎市	環境部	環境政策課	1名
17		鹿児島市	環境局 資源循環部	資源政策課	1名
18		那覇市	環境部	環境政策課	1名
19	民間団体	公益社団法人 全国産業資源循環連合会 九州地域協議会			(1名)
20		公益社団法人 福岡県産業資源循環協会			(1名)
21		一般社団法人 大分県産業資源循環協会			(14名)
22	国の機関	環境省	九州地方環境事務所	資源循環課	2名(1名)
23	事務局	一般財団法人 日本環境衛生センター 西日本支局			8名

※カッコ内の参加人数は、オブザーバ・見学者としての参加。事務局は運営としての参加。

【班構成】

A 班	B 班
福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、 福岡市、久留米市、長崎市、熊本市、大分市 4 名、 宮崎市、鹿児島市 サポート：九州地方環境事務所、 日本環境衛生センター	佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県、 北九州市、福岡市、久留米市、佐世保市、 大分市 4 名、那覇市 サポート：九州地方環境事務所、 日本環境衛生センター

5. 開催概要

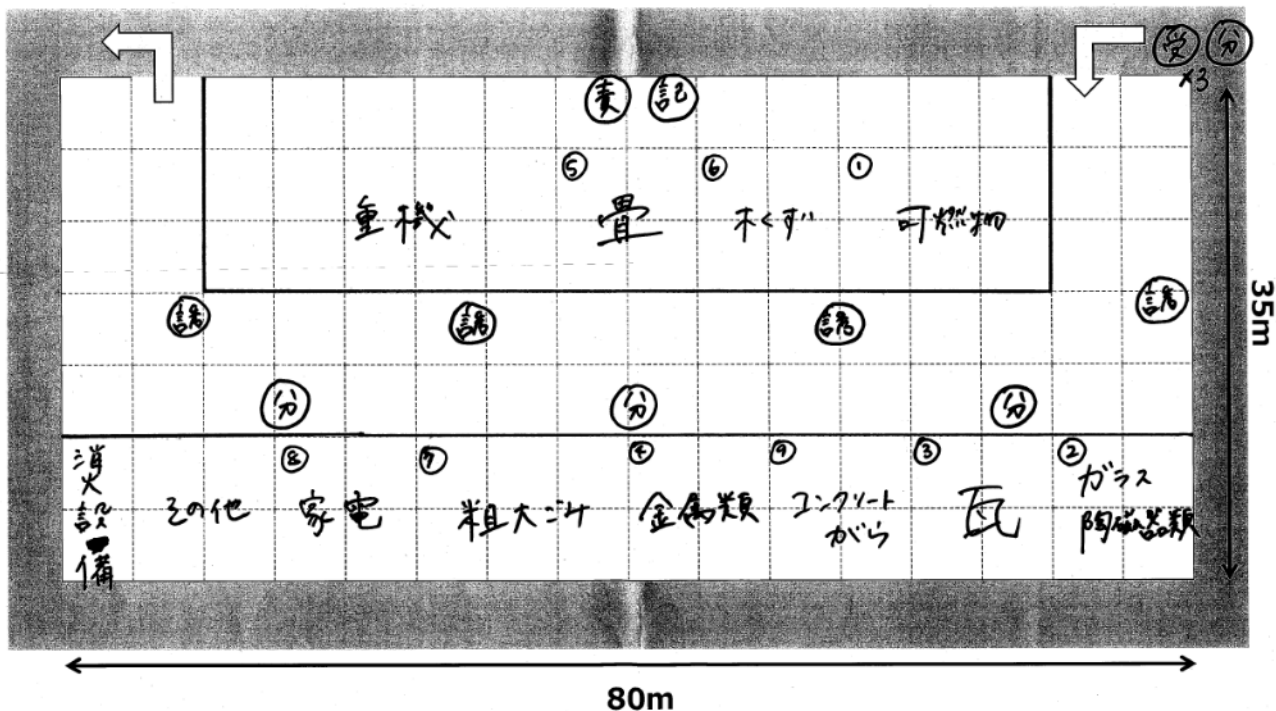
(1) ワークショップ

① 仮置場の設置計画作成

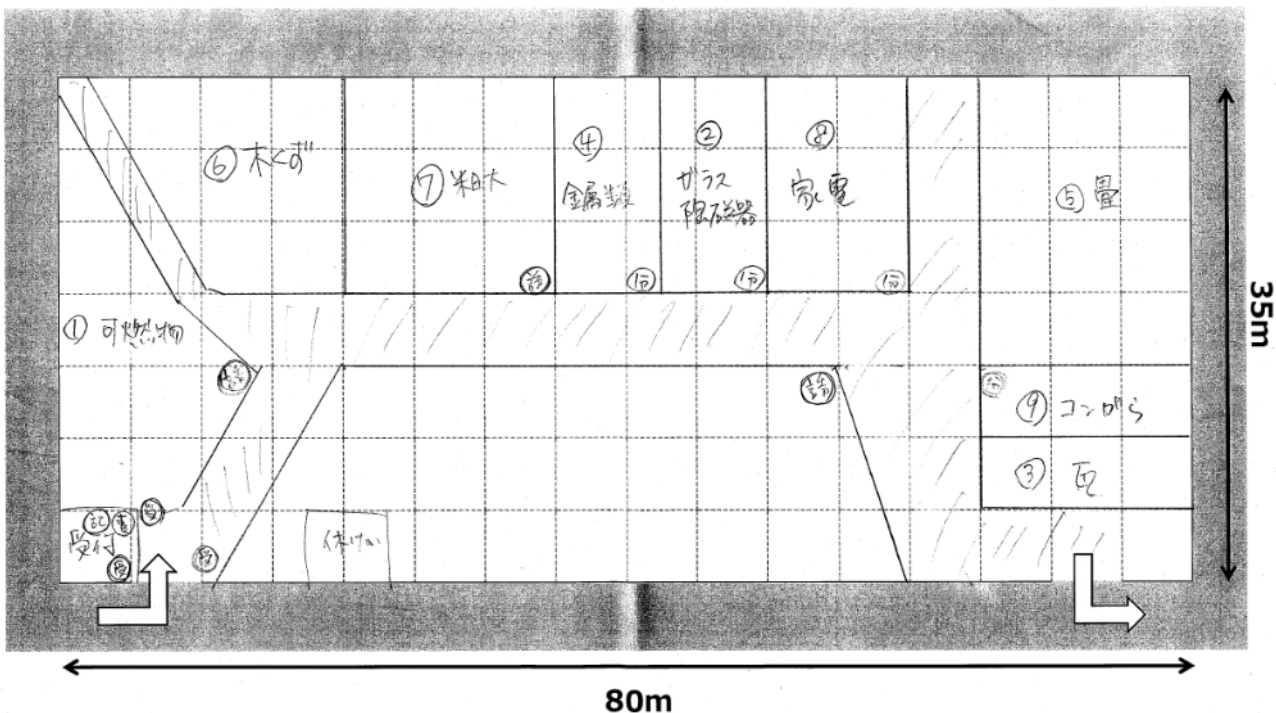
水害の発生に伴い、大分市が設置した仮置場に住民が片付けごみを持ち込む想定のもと、各班でワークシート1に設置計画を作成した。

また、仮置場運営時に準備する資機材を検討し、ワークシート2に整理した。

【A班成果：ワークシート1】



【B班成果：ワークシート1】



【A 班・B 班成果：ワークシート 2 より引用】

検討項目	A 班	B 班
仮置場の設置のために 必要な資機材	消火器 看板 鉄板 カラーコーン 机 矢板 ブルーシート トイレ 監視カメラ 照明・投光器・バッテリー	簡易テント 鉄板 又は 砂利 カラーコーン ビニルひも 受付テーブル・椅子 ブルーシート 発電機・冷暖房 仮設トイレ 南京錠・チェーン 消毒液
仮置場における廃棄物の 搬入・搬出のために 必要な資機材	重機 看板 カラーコーン・コーンバー 尺 照明 矢板 コンテナ ロープ 拡声器 トランシーバー 誘導灯	案内図 立て看板 計量器 運搬車両 コンテナ車
仮置場の維持管理や 環境保全のために 必要な資機材	コンテナハウス ヘルメット 手袋 マスク 消毒液 電源 ゴーグル シート（飛散防止）	消火器 散水車 破碎機 バックホウ 掃除用具 消石灰 飛散防止ネット ホイールローダー

②仮置場設置運営訓練実施要領作成

仮置場での対応にあたり、仮置場入口で使用する受付簿を各班でワークシート3に作成した。

また、仮置場運営時の役割に応じた対応事項を検討し、ワークシート4に整理した。各役割の職員の仮置場内の配置については、ワークシート1に記載した。

【A班成果：ワークシート3】

	受付時間	ナンバー	住所・名前 ・乗搭先	品目	確認事項	写真(車内)
1台目				①可燃物 ②ガラス・プラスチック ③缶 ④金属 ⑤畳 ⑥木材 ⑦靴・衣類 ⑧家電 ⑨220Vコンセント		☑
2台目						
3台目						
4台目						
5台目						
6台目						
7台目						
8台目						

【B班成果：ワークシート3】

ワークシート3 受付簿用紙 【B班】

ワーク 項目	搬入者確認		火災以外の 有無			
	住民の場合 (免許証等)	住民以外の場合 (所属等)				
1台目						
2台目						
3台目						
4台目						
5台目						
6台目						
7台目						
8台目						

・通常の生活が発生し、家庭ゴミ
・事業所から出るゴミ
・産業廃棄物

・冷蔵庫中身全部出してください
・バッテリー、タイヤ、危険物 NG

【A 班・B 班成果：ワークシート 4 より引用】

役割	その役割で対応する際に留意しておくこと	
	A 班	B 班
責任者	・ 全体の把握と苦情対応	・ 場内の安全確認 ・ 人員配置 ・ 連絡先一覧（更新作業も含む）
受付役	・ ドライバーに聞き取る ・ 品目に○をつける ・ 車両・荷台の写真を撮る ・ 誘導役と連携する	・ 災害ごみかどうか ・ ①～⑨（指定の分別区分）以外の品がないかどうか。
誘導役	・ トランシーバーで受付と連携し、渋滞を防ぐ ・ 事故防止（誘導の際、車両後方に注意）	・ 安全確認
分別指導役	・ 受付の場所で、持込品目を確認する。 ・ 分別せずに持ってきた人に対しては、何周も回るよう案内する	・ 安全確認
記録役	・ 写真をこまめに撮る（補助金申請に必要）	・ 写真を撮る（重機等の稼働がわかるように）



ワークショップの様子

①仮置場の設置

会場内で想定するエリア取り

資機材配置スペース:40m×20m

Site map of the outdoor sports field (野外スポーツ広場) showing the layout of the sports field, surrounding roads, and facilities. The map includes labels for 'A班' (Class A) and 'B班' (Class B) areas, and arrows indicating the direction of movement. The map also shows the '臨海産業道路' (Rinkai Sansei Road) and the '裏' (Back) side of the field.

仮置場設営時に使用した資機材

品目	用途	1 班当たり数量 (目安)
簡易テント	受付に設置（開始時点で設置済み）	1
長机	〃	2
パイプ椅子	〃	4
カラーコーン（ウェイト付）	仮置場内の仕切り	～40
ビニル紐	仮置場内の仕切り（カラーコーン同士を繋ぐ）	－
矢印板	仮置場設営用（動線指示）	～4
コピー用紙	看板への品目記載用	～20
マジックペン	〃	4
ハサミ	ビニル紐等の切断用	2
巻き尺	仮置場設営時の距離計測用	2
ガムテープ又は養生テープ	仮置場設営用（テープ固定、紙の貼付など）	－
台車	仮置場設営時の資機材運搬用	1



仮置場設置の様子

②仮置場の受入対応

仮置場内で「責任者」、「受付役」、「誘導役」、「分別指導役」、「記録役」と役割分担し、1つの仮置場（1班）あたり、計8台の搬入車両の受入対応を行った。各役割は、搬入車両2台ごとに交代し、参加者がそれぞれ複数の役割を担えるようにした。また、仮置場へ片付けごみを搬入しに来た住民役も、参加者の中から割り当てた。

【A 班】

No.	団体名	1クール目		2クール目		3クール目		4クール目	
		1台目	2台目	3台目	4台目	5台目	6台目	7台目	8台目
1	福岡県	住民	見学	受付		誘導		分別指導	
2	佐賀県	見学	住民	分別指導		受付		誘導	
3	熊本県	分別指導	住民	見学		誘導		誘導	
4	大分県	誘導	見学	住民	分別指導			分別指導	
5	宮崎県	誘導	誘導	住民	見学	分別指導			
6	福岡市	分別指導	受付	見学	住民	誘導			
7	久留米市	受付	分別指導	誘導		住民	見学		
8	長崎市	受付	責任者	誘導	見学	住民			
9	熊本市	分別指導	誘導	責任者		受付			
10	大分市	責任者	記録	分別指導		受付			
11	大分市	受付	分別指導	記録		誘導			
12	大分市	誘導	受付	分別指導		記録			
13	大分市	記録	誘導	受付		分別指導			
14	宮崎市	分別指導	誘導	受付		責任者			
15	鹿児島市	誘導	分別指導	分別指導		受付			
16	環境省	オブザーバ							
17	事務局	オブザーバ							

【B 班】

No.	団体名	1クール目		2クール目		3クール目		4クール目	
		1台目	2台目	3台目	4台目	5台目	6台目	7台目	8台目
1	佐賀県	住民	見学	分別指導		分別指導		誘導	
2	長崎県	見学	住民	受付		誘導		分別指導	
3	熊本県	受付	住民	見学	分別指導	分別指導			
4	鹿児島県	分別指導	見学	住民	誘導			受付	
5	沖縄県	分別指導	分別指導	住民	見学	誘導			
6	北九州市	受付	誘導	見学	住民	分別指導			
7	福岡市	誘導	責任者	受付	住民	見学			
8	久留米市	誘導	受付	分別指導	見学	住民			
9	佐世保市	責任者	記録	分別指導		受付			
10	大分市	受付	誘導	記録		分別指導			
11	大分市	分別指導	受付	誘導		記録			
12	大分市	記録	分別指導	受付		誘導			
13	大分市	誘導	分別指導	責任者		受付			
14	那覇市	分別指導	誘導	受付		責任者			
15	環境省	オブザーバ							
16	事務局	オブザーバ							

【基本的なごみの分別品目（大分市の市民向け広報より）】

- (1) 可燃物（プラスチック・衣類など）
- (2) ガラス、陶磁器類
- (3) 瓦
- (4) 金属類
- (5) 畳
- (6) 木質系廃棄物（木くずなど）
- (7) 粗大ごみ（家具類・布団類など）
- (8) 家電製品（冷蔵庫、洗濯機、エアコン、テレビ、その他）
- (9) コンクリートがら

【住民役に設定した、イレギュラーな役割や行動の一例】

- ・大分市の被災住民でない者の持ち込み（代理（ボランティアや親戚）、事業者、市外の被災住民）
- ・対象外の品目の持ち込み（生活ごみ、危険物、便乗ごみ、産廃など）
- ・対象外の品目を持ち帰るように指導を受けた際の抵抗
- ・荷下ろしを自ら行わない（場内の職員に全て任せようとする）
- ・待たされたことに対する不満（苦情）を言って受付に素直に応じない
- ・積み下ろし場所を間違える
- ・搬入者の身元や対象外の品目の持ち込みに関する偽証



仮置場受入対応の様子

6. 事後アンケート

(1) アンケート回答割合

	対象者数（組織・人数）	回答者数	回答割合
A 班プレーヤー	12 組織・15 名	6 名	40%
B 班プレーヤー	11 組織・14 名	7 名	50%
オブザーバ・見学	5 組織・18 名	6 名	33%

(2) アンケート結果

①開催形式について（午前：屋内ワークショップ形式／午後：屋外実践形式）

この開催形式でよかった	: 100.0%
ワークショップ形式のみがよかった	: 0.0%
屋外実践形式のみがよかった	: 0.0%

②プログラムの長さについて（昼休みを除いて約5時間）

ちょうどよい	: 84.2%
長すぎる	: 5.3%
短すぎる	: 10.5%

③ワークショップの内容についてのご意見

- 当該候補地で何がベターなレイアウトなのか、品目により面積をどう配分すればいいのかが等、行政職員だけでは判断つかない（日頃の業務でやらないところ）。
せつかく産業資源循環協会の会員事業者が訓練に参加していたので、当該事業者もワークショップに入れて検討いただくと、行政にないプロ目線での助言、留意点などご指摘いただければ、より実践的なレイアウトが作成できたと思う（非常にもったいない）。大分県の副会長様も訓練講評時、話をされていたがプロ目線で指摘事項が多々あったのではないかと思います。
産業資源循環協会目線のフィードバックもほしい。
- 課題が多く、時間が足りないと感じました。仮置場のレイアウトはあらかじめ決めておいて搬入ルートや集積場所の設定の検討でよかったと思います。ほぼ全員が仮置場設置の経験がなく、うまく進行しなかったような気がします。
- 仮置場について、マニュアルや計画を読んで理解をしている認識ではありましたが、いざ被災状況を踏まえて、レイアウト作成や運用等を考えると、想像よりも決めることが多く、住民目線と廃棄物処理業者目線でどのような組み立てがベストなのか調整するのが難しかったです。このことを体感できたことはとても学びになりました。
- 班の人数が多く、意見の集約や議論が進みにくいように感じました。
- 実際の災害廃棄物対応の規模や人員体制など、訓練との状況の違いがわかればと思いました。
- 対応経験自治体の方の意見も聞きながらの実施だったため、実際の現場に必要な要素を聞けて大変参考になった。

④ワークショップで作成した成果（ワークシート）を振り返ってみてのご意見

- ワークショップで検討したレイアウトを各自治体の標準とするのは非常に危ないと思う。プロ目線（産業資源循環協会監修）のレイアウト例やレイアウト検討時どんな点を気を付けるべきか併せて共有すべき。
- 資機材の検討も含めて、机上の用紙に記載すると見えにくい位置にいる人はよく把握できなかったと思います。モニターとパソコンを用意して、意見を画面にどんどん表示するようにしたら、もう少し活発な意見が出たと思います。
- 住民目線と廃棄物処理業者目線でレイアウトを決めたが、搬出部分をどのようにしていくのか、搬入も荷物の種類によって住民の車が蛇行するので、もう少し工夫する必要があったと実践訓練で感じました。
- 他班のワークシートを見て、自分たちでは思いつかなかった点が記載されており勉強になった。
- 確認事項の取捨選択が難しかった。

⑤屋外訓練「１．仮置場の設置」の内容を振り返ってみてのご意見

- 風が強く、ビニールひもだと設置しづらいと思いました。白線でもよかったのでは。
- 色々な住民設定があり、職員間の連携が重要だと思いました。また、事前に決めたルールも実際に運用してみて、柔軟に変更の検討や対応すること必要だと思いました。
- 悪天候のなかでも設営できるような資材をピックアップしておく必要があると感じた。

⑥屋外訓練「１．仮置場の設置」で設置した仮置場のレイアウトを振り返ってみてのご意見

- 通路が狭い、バックしないといけない動線は改善必要。広さがないため仮置き場がすぐに満杯になる恐れがあるため、搬出用の動線も別途確保し、搬入と搬出が同時にできるようにすべきだと感じた。
- うまくいったと思います。
- 水害に伴う災害廃棄物の発生という設定だったため、多くの量の搬出を見込んでレイアウトを作成したが、実際現場で仮置場を設置してみると他の廃棄物よりも面積を取り過ぎていたと感じた。
また、資機材や重機等を置くスペースも考慮していたが、実施の仮置場運営の際には、スペースの確保は難しいかと感じた。
- 搬入時に渋滞を起こさないよう、導線から搬入車両を奥に入れるようにしましたが、車両を後退させることとなり混雑時はかえって難しいと思いました。
- 今回の仮置き場での模範となるレイアウトがあれば良かった。
- 車両が通路に入り込むなど、広さの制限もあり、レイアウト設定時に想定したような動きに誘導することが難しかった。

⑦屋外訓練「２．仮置場受入対応」の内容を振り返ってみてのご意見

- 仮置き場内の管理運営は委託できたとしても、入口での受付（対住民対応）の部分は行政として必要な対応であるため、非常に勉強になった。また、受付と仮置き場内の連携が必要な事など改めて認識できた。
- 産業廃棄物に該当するものに関して、参加者の意識が統一されていなかったので、どういったものを受け入れ、どういったものを断るのかをワークショップで検討できるようにした方がよいと思いました。
- 職員間の情報共有が重要だと感じた。訓練後にも話がでていたが、無線機を使うなどして、すぐに連絡が取り合える体制を整えておく必要があると感じた。
- 複数人数で対応する役割（受付、誘導、分別指導）において、誰をどこに配置してどう動くかを役割内で確認したうえで対応できればと思いました。
- 様々な立場の方が、様々なものを搬入されることを幅広く想定しなくてはいけないと感じられる訓練だった。被災者という立場を考えると心情としては許容したいが、どの程度とするか判断が難しいと思った。

⑧屋外訓練「２．仮置場受入対応」で担った各役割での対応を振り返ってみてのご意見

- 同じ役割同士での打ち合わせをする時間がなかったです。
- 回収指導と誘導の区別が若干混ざっていたような気もしますが、実際の災害ではここまで職員を割けないと思いますので、職員１人が回収指導＝誘導を兼ねると思われます。参加者数の兼ね合いもあると思いますので今回の割り振りがベストと思います。
- 訓練を始める前に、班内で各係の注意事項を共有しておいた方がよかったと反省した。誘導係が、廃棄物の荷下ろしで、車両を奥まで誘導し、バックで通路に戻すなどしていたのが気になった。
また、実際の仮置場を運営する際は、仮置場の奥から荷下ろしをするかと思うが、分別指導係のそういった声かけ等がなく市民役が通路側に荷下ろしをしていて、そういったイメージが不足していたと思った。
- 責任者役についても何か訓練になるような条件付与やフィードバックがあるとよかった。
- 情報伝達がスムーズな運営に重要だと感じた。全体把握のため責任者への連絡はもちろんのこと、はじめ断られたものが仮置場内を進むうちに受け入れ可となったり対応がまちまちにならないよう、事前打ち合わせが重要だと思った。

⑨「模擬仮置場」やプレーヤーが実践した「受付・場内誘導・分別指導など」についてのご意見

【プレーヤー参加者のご意見】

- 自分たちが設定したレイアウトがちょっと違うなと思って、現場で改良する時間がなかったです。
- 午前中のワークショップの際に時間がとれれば、各係での注意点を班内で共有していた方がよかったと感じた。
- 受付をするまで何が積まれているか分からない想定だったが、実際は受付待ちの車両を確認することも想定されるので訓練に含めてもよいのでは。
- どの区分に寄るか、搬入者と受付側がはっきりわかるようなツール（色違いの旗やマグネ

ットなど）があるとお互いスムーズだと感じた。

【オブザーバ・見学者のご意見】

- ダンボールでの仮想廃棄物な為、ヤードに降ろす時二段積みの上を簡単にどけて、下の仮想廃棄物を先に降ろす等行っていた。通常では先に上の軽い廃棄物を降ろし次に重量物になるはず。仮置きヤードのレイアウトがよくない事に気付けない。
- 同じ廃棄物でも、どのヤードに持って行かせれば良いか受付担当で指示がまちまち。マニュアル作成し統一するべき。
- 混載でなく単品持込をお願いして、単品持込車両を優先して受入る方式にすべき。
- 合言葉 混ぜれば遅い。分ければ早い。
- 家電製品置場はリチウム電池使用した製品を別ヤードにするなど火災時の延焼を防ぐ対策必要。
- 荷卸し時、重機で行い車両を痛めて修理費でもめるのをよく聞く。ルール作成必要。
- 自転車でも電動がありリチウム電池を外し分別必要。
- 仮置き場は出入口のみからしか持ち込めないようにする。仮囲は 3m 以上の高さにしておく事。低いと夜中に混載で投棄される事例あり。
- 家電や鉄屑を無償で片付けると営業して来る処理業者がいるが、むやみに契約しない事。あとで運搬費は含んでないとか、燃料等は現場にこぼし仮置き場の土を総入れ替えの事例もある。入札形式にして売却した方が良い場合がある。担当者は慌てない事。
- ワークショップ形式で去年までの引き継ぎ事項などがあれば、さらにクオリティの高い模擬仮置き場の案が内容の濃いいものができると思いました。
- 仮置き場の動線は、一方通行を基本に持込み車両がバックしたりする様な事が無い方が良いと思う。また、区分に関しては家電製品以外はたまかで良いと思います。
※家電類に関しては火災のリスクがあるのでもう少し細かくした方が良い。
- 場内の誘導に関しては、各区分ごとに誘導員を配置して無線連絡等を行い誘導した方が混雑しないで良いと思う。
- 災害時には、基本的に水害とそうでない場合で廃棄物の状況が変わるので2パターンを想定すべき。
- 災害廃棄物を持ち込む場合、混雑（車両）が想定されますので、混載持込みライン（車両ライン）分別された廃棄物ライン（車両ライン）等を置き場隣接の土地に車両待機場を設営した方が効率は良くなると思います。
- 日頃よりの周知、訓練は欠かせませんね。廃棄物の受け入れと排出までの動線も含めた訓練が理想ではないでしょうか。
- 災害時は、思うようにはいきませんが、基本は、やはりしっかりと官民共同で知恵を出し合っていきたいですね。
- 模擬仮置場について、搬出用大型トラックの動線確保が必要。
- 場内バック禁止。
- 災害内容に応じたレイアウト必要。
- 賛否あると思いますが、仮置き場訓練に参加してイメージが出来て良かったと思います。各市町村でも同様の訓練を希望します。

⑩今後同様の訓練が開催される場合の、ご意見やご要望事項

【プレーヤー参加者のご意見】

- 繰り返しになるが、ワークショップから産業資源循環協会の事業者も参加者として入れるべきだと思う（事業者は日頃、現場でやっている事であり、行政職員はその部分は日頃やらないところ、そもそもレイアウト検討は災害時には事業者に任せてもいい部分だと思う）。併せて事業者（プロ）だったらどんなレイアウトにするか、レイアウト検討時の留意点も含めフィードバック（産業資源循環協会からの）をお願いしたい。
- もし雨天延期となった場合、遠方からの参加者は前泊をキャンセルしたり、新たに宿の予約を取ったりしなくてはならず、キャンセル費用等が発生するので雨天の場合、体育館等で訓練できるようにしておいた方がよいかと。
- 廃棄物処理業者のかたのアドバイス、コメントが随所にいただけるとありがたいと思いました。レイアウト作成や実践訓練時に、「これでは重機が入らない」や「搬出の時に動線上住民に対して危険性がある」など、廃棄物処理業者目線でご指導いただける機会があるとさらに学びが深まると思いました。
- 今回初めて仮置場の訓練に参加しました。たいへん勉強になりました。
- 今回のように実際に設営することで、イメージができたので継続実施してほしい。当日振り返りや、後日資料送付の際に、実際の災害時に行われた仮置場設置時のレイアウトを教えてくださいとさらに効果的になると思います。
- 今後、毎年、何度か訓練をする機会を設けるのであれば、その都度テーマを絞って、例えば、仮置場のレイアウトをじっくり検討する、資機材についてよく検討する、役割や現場で起こることについて検討する、などそれぞれを濃く検討する研修にしてはどうでしょうか。
- 継続的に実施していただければと思います。
- 訓練としては受付が肝であるように感じたが場内役でいる場合は様子があまり分からないので、そのフィードバックがあればなおよいと思った。

【オブザーバ・見学者のご意見】

- 机上でしっかり手順作っておけば訓練してもさほど意味ないと思っていた。しかしやってみると様々な問題点が出てきた。我々廃棄物のプロでも悩む事例も多々あった。各市町村で必ず開催すべきだと思うし、産資協会員は必ず参加して何をどう改善すべきか担当者のつもりで見学すべきだと思う。
- 全国産業資源循環協会のメンバーなどを廃棄物の分別場に配置して実際の業務と行政との意識を共有していかないと、現実の時に支障がでると感じました。
- 大きくは、自治体の担当者が、毎年同じではないこと。そういったところを加味した、つまり、in と out までを想定した訓練が理想ではないでしょうか？仮置き場の受け入れ側と排出（業者）側、そして、一廃の受け入れ施設側との認識のズレを解消した、ある意味災害廃棄物上においての、共通言語化が、必要な部分があるのではないかと思います。素晴らしい取り組みなので、ぜひ、毎年、すべてのステークホルダーを巻き込んで、災害対策訓練をやるべきだと思います。